

つなげて語る、緑内障治療！

～点眼薬&手術～



座長



相原 一先生
(東京大学)

座長のことば

人生100年時代と言われるようになり、目の健康寿命を延ばすことが注目されています。中でも、日本の失明原因の一位である緑内障においても、その進行軽減により生涯視機能を維持したいものです。今回の学会テーマである「ここまで見える、ここから魅せる」になぞらえて、緑内障治療のうち、中倉先生には点眼治療について、稲谷先生には手術治療について、“ここまで見えていること”と“ここから魅せれること”を、つなげて語っていただきます。先生方の今後の緑内障診療の一助となり、より多くの患者さんの目の健康寿命を延ばすために、保つためにお役に立てれば幸いです。

講演Ⅰ

中倉 俊祐 先生
(ツカザキ病院)



「まとめて解説！ 緑内障点眼薬の見える、見えざる副作用」

講演Ⅱ

稲谷 大 先生
(福井大学)



「まとめて解説！ 緑内障手術最新ラインナップ」

講演 I

中倉 俊祐 先生 (ツカザキ病院)

2000年 大阪市立大学医学部 卒業 / 眼科入局
2001年 岩手県立花巻厚生病院 眼科医師
2007年 済生会 御所(ごせ)病院 眼科医師
2008年 大阪市立大学 大学院卒業 博士号取得
2009年 三栄会 ツカザキ病院 眼科
2012年 日本眼科学会 指導医
2014年 三栄会 ツカザキ病院 眼科部長
2018年 日本眼科手術学会 評議員

講演 II

稲谷 大 先生 (福井大学)

1995年 京都大学医学部卒
1997年 京都大学大学院生
2000年 京都大学助教
2001年 米国バーナム研究所客員研究員
2006年 熊本大学講師
2011年 福井大学医学部眼科教授

MEMO